

荒垣秀雄氏生誕120周年記念回
第6回「荒垣秀雄顕彰作文コンクール」
作品募集要項

【コンクールの目的】

岐阜県飛騨市(旧吉城郡神岡町)出身の故荒垣秀雄氏は、昭和21年から足掛け18年の長きに渡り、朝日新聞一面コラム「天声人語」を執筆されました。自然の季節感や花鳥風月が取り入れられた読む人を惹きつけるその魅力的な文章が評価され、昭和31年には菊池寛賞を受賞されています。そのほか時事番組への出演や著書の出版、自然保護活動の推進を通じて世論に大きな影響を与えました。

そうした数々の功績が称えられ、昭和45年に荒垣氏は神岡町名誉町民となりました。平成30年には生家跡地に顕彰石碑が建立され、今も神岡町の顔の一人として、地域の人々に敬愛されています。

本コンクールは、その顕彰碑ができた際に「天声人語」にちなんだイベントとして始まりました。当時の「天声人語」と同じ800文字で、自分の考えや想いを言葉、文章にすることによって、表現力・想像力・発想力を育むとともに、飛騨が生んだ偉大な先達を永く語り継ぎ、顕彰することを目的としています。

荒垣秀雄氏生誕120周年の今年は「挑戦」というテーマで、6回目となる作品募集を行います。

【応募規定】

○テーマについて

『 挑 戦 』

○字数について

800字 (400字詰めの縦書き原稿用紙2枚)

○各部門と応募資格について

- ① 小学生の部(5・6年生のみ)
- ② 中・高校生の部
- ③ 一般の部

※各部門の範囲内であれば、どなたでもご参加頂けます。

○応募方法 等

1. 応募票(コピー可)を各項目ご記入の上、作品に添えて応募先まで郵送してください。
2. 文の頭は、原稿用紙の1行目としてください(原稿用紙へのテーマ「挑戦」の記入は不要です)。氏名は、原稿用紙2枚それぞれの欄外右下の余白へご記入ください。
3. 原則として、応募作品は返却しません。
4. 入賞作品は飛騨市のホームページやひだ電子図書館などで公開します。

○締切

令和5年9月15日(金) < 必着 >

○各賞

◇荒垣秀雄 天声人語賞(提供:荒垣秀雄氏のご遺族より)

- ①小学生の部:1点 (図書カード3万円)
- ②中学生の部:1点 (図書カード3万円)
- ③高校生の部:1点 (図書カード3万円)

◆小学生の部:特選 1点 (図書カード1万円), 入選 4点 (図書カード5千円)

◆中・高校生の部:特選 1点 (図書カード3万円), 入選 4点 (図書カード1万円)

◆一般の部:特選 1点 (図書カード3万円)

◆朝日新聞社賞:1点 (賞状および記念品) ※飛騨地区内の児童・生徒の応募者が対象です。

◆飛騨市長賞:1点 (賞状および記念品) ※飛騨地区内の児童・生徒の応募者が対象です。

○審査・発表・表彰式

審査の結果については、令和5年12月頃、入賞者を飛騨市ホームページおよび報道機関等を通じて氏名等を発表します(入賞者のみ別途結果を通知します)。

表彰式は、令和6年2月頃、飛騨市内において開催予定です(入賞者には別途ご案内します)。

<審査員>

都竹淳也(飛騨市長), 荒垣さやこ(荒垣秀雄天声人語賞審査員), 阿部英明(朝日新聞名古屋本社統括センター長), 山本正明(荒垣秀雄氏生誕地顕彰会長), 沖畑康子(飛騨市教育長)

○応募先・問い合わせ先

飛騨市神岡図書館

〒506-1111 岐阜県飛騨市神岡町東町378 神岡振興事務所 1階

T E L:(0578)-82-1764 ※図書館開館中のみ対応可能です。

開館時間:火曜日～土曜日・祝日/9:00～20:00 日曜日/9:00～17:00

休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館) 図書整理日(毎月最後の金曜日)

【主催】 飛騨市, 飛騨市教育委員会

【共催】 朝日新聞社, 荒垣秀雄氏生誕顕彰会, 荒垣秀雄氏のご遺族

《天声人語とは》

朝日新聞朝刊の1面に連載されているコラムです。1世紀以上もの長きに渡って掲載され、最近のニュース・話題を題材にして、読者に対して様々なメッセージを送り続けてきた「名物コラム」です。

《荒垣秀雄氏の経歴》



明治 36 年、岐阜県吉城郡神岡町に生まれる。早稲田大学政治経済学部卒業後、東京朝日新聞に入社。昭和 14 年に東京本社社会部長に就任。その後は、リオデジャネイロ支局長など海外特派員として活躍。昭和 21 年「天声人語」の担当となり、コラムニストとしての地位を確立。昭和 38 年「天声人語」終筆。退社後はフリージャーナリストとして 80 歳代まで、執筆活動やテレビ出演を続けるかたわら、自然保護活動家としても活躍され、日本自然保護協会会長などを務められました。